

ひがし しらかわ 広報

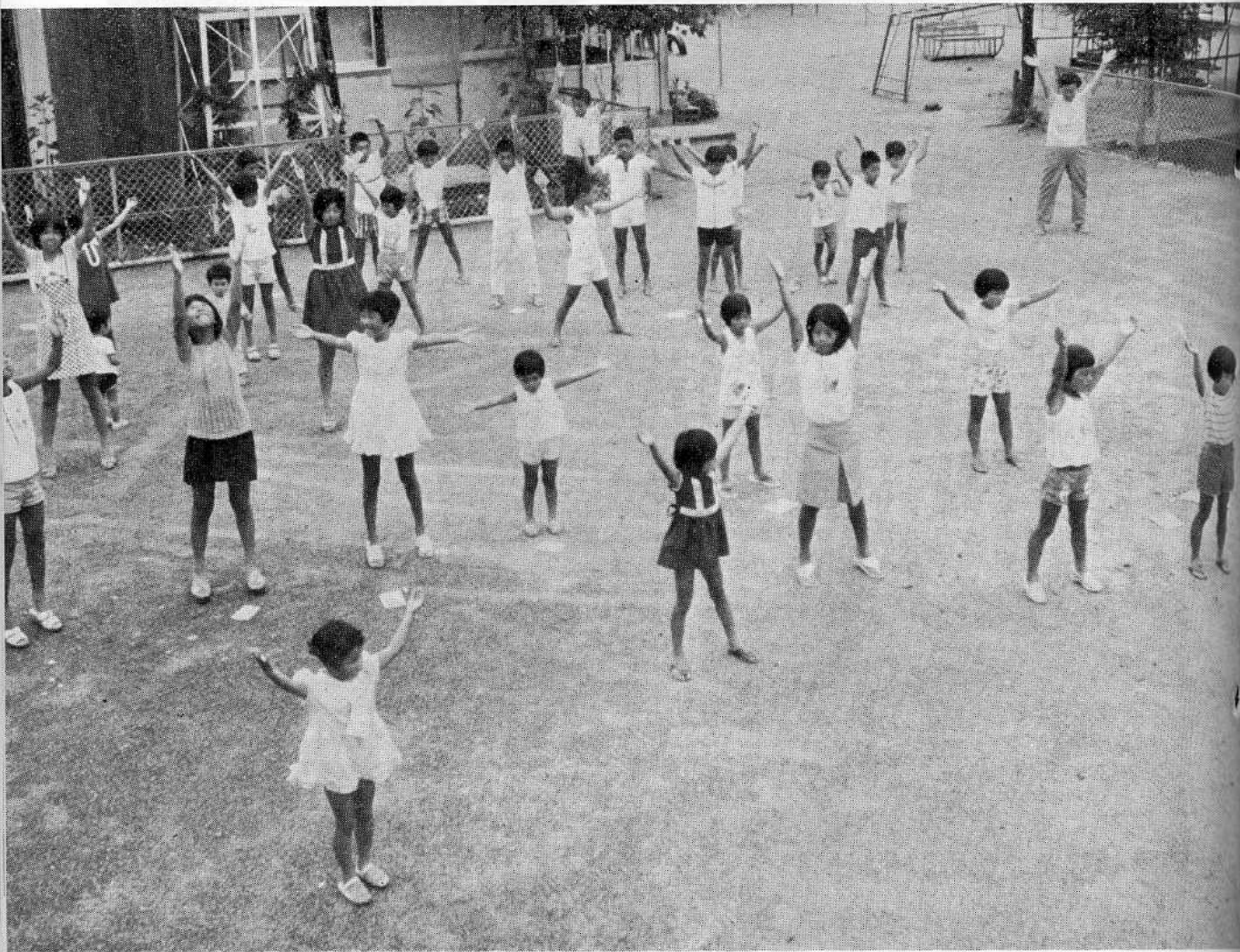
No. 183
'50 8 / 10

人口の動き

人口	3,991人
世帯	960世帯
出生	3人
死亡	4人
転入	6人
転出	2人

— 5 月末住民登録人口から

発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 編集 / 企画広報課 印刷 / 関市中部印刷



今日も
元気に

すがすがしい朝の空気を吸って、毎朝
続けられているラジオ体操。

眠くても、元気に参加する子供たちに
とって大きな意義があるようです。

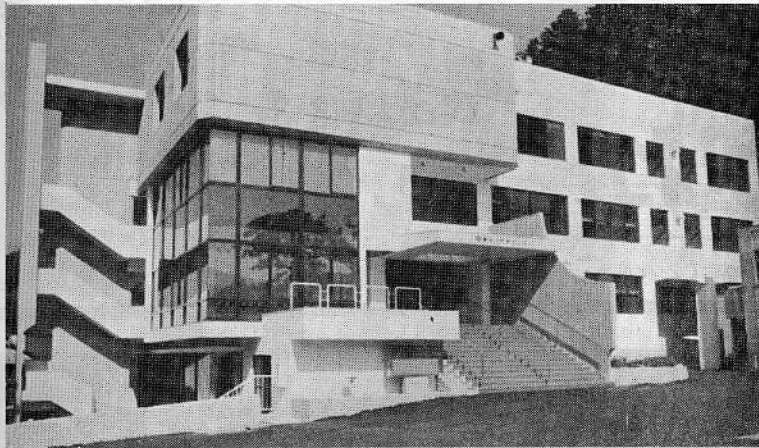
一神土保育園会場にて

- 主な
- ☐ 待望村民センターが竣工...
 - ☐ 印鑑登録制度の改正(その3)
 - ☐ 本村勢、郡体で大活躍...
 - ☐ 恐い過労運転の事故...
 - ☐ 訪中青年の船レポート(3)
 - ☐ 村誌こぼれ話...
 - ☐ ふるさとへの便り...
 - ☐ お知らせは2ページ下欄から

ふれあいの人間関係目指す

待望の東白川村民センターが竣工

昨年十月に着工以来、工事が進められていた「東白川村民センター」が完成、さる七月十八日に岐阜県知事ら村内外関係者多数を招いて盛大に竣工式が行われました。これは、昨年度からスタートした第二期山村振興事業の中で、山村における総合的な拠点としての山村開発センター建設事業として建設されたものです。



人と人が出会い、そのふれあいの中から生まれた人間関係を、これからの村づくりに生かそうというのが、このセンター建設の基本方針として進められました。

竣工式は午後一時半四階の大集会室で行われ、越原大明神、子護神社の神楽獅子の舞いで幕明きとなりました。

村長、村雲建設委員長のあいさつと経過報告、工事関係者へ感謝状の贈呈などが行われた後来賓として招いた平野岐早県知事や渡辺代議士、青山県会議員

↑山の緑に白さが映える村民センター

など多数の皆さんからお祝いのあいさつがありました。

最後に入所団体を代表して河田森林組合長からお礼のあいさつがあり、式の幕を閉じました。

引き続き、全員が館外へ出て平野県知事直筆の館名碑の除幕や、岐阜県の木「いちい」や村の木である「ハナノキ」の記念植樹なども行われました。

一方、竣工式のお祝いに中日新聞社のヘリコプターが飛来、総合運動場へ花束を授下、式典の盛り上げに一役かいました。

建物は鉄筋コンクリート四階建て、延面積千九百四十六平方メートル、白亜のモダンなものです。

総工費は二億五千五百万円を費し、設計は岐阜市の大建設設計、施工は岐阜市の大日本土木が請負い工事を行いました。

■センター内の主な配置

一階―東白川農業協同組合の事務所です。

玄関は南側の道路添いで、明るい事務所で業務が始まっています。また、冬期における建物全体の集中暖房機械室があります。

二階―森林組合、商工会、林材組合、農業共済組合などの団体事務所があります。いくつもの用事が一度に片付き便利になりました。

それに、だれでも気軽に利用できる喫茶室や、ちよつと出会った人と話ができるロビーがあり、だんらんとくつろぎの場に広く利用できます。

展示コーナーには、村の主な産物が展示され、皆さん自慢の盆栽なども自由に展示できます。

三階―山村開発センターとしての機能は、この三階と四階が主体となります。

農業研修室、林業研修室、情報指令室、経営相談室、栄養改善研修室、老人の部屋、農村青年室がこの階にあります。

これらの部屋で、研修や会議が幅広く行え、特に用途に合った施設設備が整い、立体的な専用研修室として利用できます。

今後、これらの部屋や施設設備を生かして、新しい企画や、より活発な活動が期待されます。

四階―ここには二百人を収容できる大集会室、婦人の部屋、健康相談室があり、いろいろな講演会や総会などの大集会、それに結婚式などが行えます。また、テラスやホールも広くとってあり、休憩や展示に広く利用できます。

ひがししらかわ

■人の動きあれこれ



誕生おめでとう
ございます。

(五月)

(下野)今井

信行 宏治男

(加舎尾)安江

則子 美長女

(平)安江

龍次 富紀二女



いつまでも
おしあわせに

藤井昭司(平)

安江周子(大明神)

安江定武(曲坂)

中村洋子(鹿兒島県)

村雲輝孝(中通)

今井千恵子(下野)



おくやみ
申しあげます

田口いちの(加舎尾)

安江敬造(柏本)

安江太二郎(陰地)

島倉酒造郎(上親田)



↑ 県が推進している豆で百歳運動に協賛、豆の料理がたくさん展示され好評でした

竣工式スナップ



← 久しぶりに村を訪れた平野知事が竣工のお祝いを述べられました



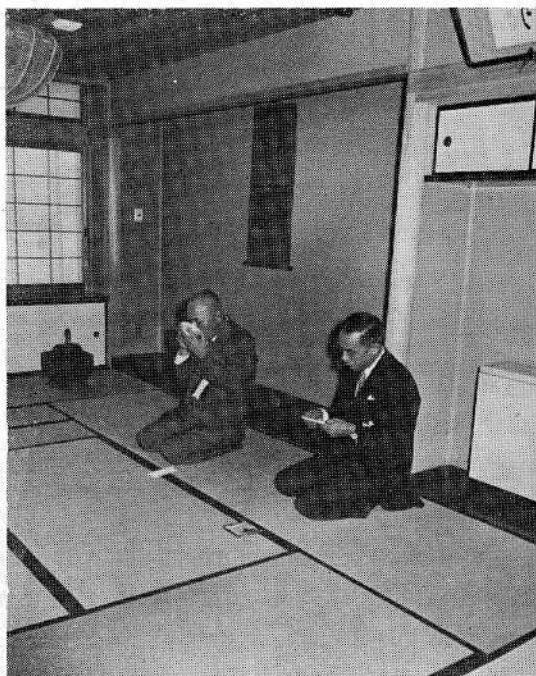
↑ 念願のセンター竣工の喜びと、これを契機に村がさらに発展をと村長の式辞

↓ 竣工を祝って商工会が催した商工会まつりにも大にぎわい、訪れた人たちを楽しませてくれました



センターで会おう

センターで語ろう



↑ ひのきの香がいっぱいの婦人の部屋で知事も茶を一服

協賛行事もいっぱい

待望の村民センターの竣工を祝して、市内の各団体や組織もいろいろな協賛行事を催し、盛り上げに役かいました。館内には主として展示、館外の広場では「商工まつり」が開かれ文字どおり館内外は大にぎわいでした。協賛行事のいくつかを紹介しましょう。

人気呼んだ展示や即売コーナー

豆で百歳運動展

村榮養改善推進協議会

榮養改善室で大豆を使用した料理を紹介、そのうちいくつかを試食会として展示、訪れた多くの人たちに好評を博しました。

自然食、省資源のこの時代こそ畑の肉、大豆を見直そうとした試みは大成功で、豆の料理五十種を掲げた「豆の調理方法全集」というパンフレットもあつたという間になくなつてしまいました。

老人クラブ作品展と即売会

村老人クラブ連合会

郷土に伝わる古い民芸品を展示して、古くから伝わるものの価値を見出し、これらの伝承技術を後世に伝えようとする運動をひろうしました。

昔から伝わるわら細工、竹細工などの製作展示のほか、特に注目されたのは、約七十年前に作られ

た綿の着物です。

これは展示のうち「昔の衣裳展」に加舎尾の田口すみさんが出品されたもので、同家の祖母たきさんが、綿の栽培から摘み取り、紡ぎはた織り、染色、縫製にいたるまで全部自分の手で仕上げられています。

このほか、当日の素朴な生活の知恵ともいえる数多くの衣裳や道具が展示され、ぜひたくになれた私たちに何かを教えてくれたようです。

村内学校作品展

村教育研究会

村内小中学校児童生徒の図工や書道の作品がいっぱい展示されました。

小学校の児童の作品、私のお父さんの絵はユーモアもあつて訪れた人たちの笑いを誘い、館内の展示の人氣を集めていたようです。

花会

三ッ葉会

村内の生花同好者と青年学級生花グループの皆さんの生花展は、館内にすがすがしいふんい気を盛り上げました。

書道展と写真展

書道サークルと写真同好会

広いホールを利用して、書道サークルが日ごろの練習の成果をひろいました。

最近、特に書道が見直されて勉強する仲間も増え、優秀な作品が多く展示されました。

また写真展には、村内の風物や村が特別展示した昨年撮影の航空写真のパネルも好評でした。

茶会

青年文化講座茶道部

青年学級の娘さんたちが、来賓や参観者たちにお点前をひろいました。

知事も茶会場となった本村特産

の東濃ひのき仕上げの婦人の部屋を入念に見られた後、お茶を飲まれました。

また、その後特産の白川茶を所望され、用意されていたなかった娘さんたちをあわてさせる一幕もありました。

木の国運動展

東白川村森林組合

「豊かな資源を作ろう」、「良い苗木を植えよう」、「良い林を作ろう」というテーマで、写真・参考品、資材の展示が行われました。

展示された中には、本村特産東濃ひのきの柱材もあり、一本十万円近くする値段を聞いて、驚いた感心したり、話題を呼んだコーナーといえます。

民踊・三味線クラブ合同発表会

民踊、三味線クラブ

大集會室を利用して、それぞれのクラブの練習の成果をひろいました。

中央婦人教養講座

東白川村連合婦人会

センターでの講座のトップを切つて二日目の十九日、中央婦人教養講座の開講式と講演会が開かれました。

恵まれた施設で、系統的な学習をとのねらいどおり、今後も各階層ごとに講座や学習が計画されていて、その成果が期待されています。

商工まつり

東白川村商工会

センターの竣工を記念して、商工会加入の店が広場で商工まつりを開き、生産品や商品の展示即売を行いました。

カラフルなテントの中で約三十軒の店が、それぞれ特色を生かしたコーナーは大好評、二日間を通じて空前の人出となり、センター竣工式を大いに盛りあげました。商工会ではこれを機会に、毎年こうした商工まつりを開いていこうと大張り切りです。

盆栽展と即売会

東白川盆栽クラブ

盆栽クラブ員が日ごろ丹誠こめて育てた盆栽の展示コーナーも商工まつりとともに大好評でした。その一部は即売され、趣味と実益を兼ねたクラブの催しは、回を追うごとに盛大になっていくようです。

■センターは、だれでも気軽に利用できます。

役場の産業振興課に申込み用紙がありますから、所定の事項を記入して申込んで下さい。

お急ぎの場合は、とりあえず電話でも受付します。

使用時間は、午前八時から午後十時までです。

細部は、産業振興課までお問い合わせ下さい。

変わる印鑑登録と証明制度―その3

■印鑑登録証明書申請

交付申請書に記入していただき

交付申請書に記入していたべき登録されたときに交付を受けた登録証（手帳）を添えて役場窓口へ出していただきます。今までは証明を受けようとする印鑑を持参していたかなければ証明書を交付されませんでした。これからは印鑑の代りに登録証の持参が必要が必要です。代理人による場合でも委任状は必要ありません。たゞし登録証は代理人にあつてください。登録証を他人にあつけることは委任したと同じ効力を発揮するわけです。

役場窓口では登録証の提示によって登録番号を確認して証明書を交付しますので登録証を持参されない人には証明書は交付しません

■印鑑登録証明書

いままでの証明方法を直接方式
といっていました、これから

材質のしっかりした印鑑を登録

■印鑑登録証の廃止など

また、自分の住所が変わったり結婚などで氏が変わった場合もその旨を届けて下さい。

印鑑登録証を亡くされたときは
それが悪用されることがないよう
あらかじめ係まで電話でお知らせ
下さい。

この場合、印鑑登録証明書の交付を停止し、正規の届出が行われた時点で登録を抹消し、再登録を行っていただくことになります。

—民生課、住民係

遺族（おおむね兄弟姉妹）

一、昭和十二年七月七日（日華事
變ほつ発）以後昭和十六年十二
月七日までの戦没者について戦
没者死亡当時、公務扶助料、遺
族年金などを受けるかた（おお
むね配偶者、父、母）がいなか
った場合の遺族（おおむね兄弟
姉妹）

一、昭和十六年十二月八日以後の戦没者について、昭和五十年四

月一日までに弔慰金のみを受けた場合の遺族（おおむね兄弟姉妹）なお、住民係で遺族台帳などの資料で該当者を調べていますが、村内での該当者は約九十名と予想され、該当者が確認された折その遺族にお知らせする予定です。

また、今回の戦没者などの遺族に対する援護法改正によって遺族年金、遺族給与金の額が改定されます。

現行金額三十六万六千六百円が、今年の八月から四十七万四千円、さらに来年一月から五十万六千円にアップされることになりました。

また、今回の戦没者などの遺族に対する援護法改正によって遺族年金、遺族給与金の額が改定されます。

現行金額三十六万六千六百円が、今年の八月から四十七万四千円、さらに来年一月から五十万六千円にアップされることになりました。

くわしくは、民生課住民係までおたずね下さい。



大接戦が続いたママさんバレー会場

みごと3種目に優勝

本村勢、郡体育大会で大活躍

七月六日と十三日、八百津町で開かれた第十九回加茂郡体育大会で、本村代表チームは三種目に優勝するなどほとんどの種目に上位入賞する大活躍をしました。

この大会は、加茂郡七カ町村が種目ごとに順位を競うもので、回を重ねるごとに盛大となり、レベルも高くなっています。

村からは十一種目に百七十名の選手、役員が参加、各町村代表の強豪の中で健闘し、すばらしい成績を取ったものです。

例年、東白川のような小さな村のチームが、大きな町村の選抜チームと互角、あるいはそれ以上に戦える裏には、選手一人一人の日ごろの練習と、村をあげてのスポーツ振興に取り組んできた成果が実を結んできたといえるようです。

大会での成績が村のスポーツ振興のバロメーターとはいえないまでも、盛りあがってきた現在のスポーツ熱を、村のすみずみまで広め健康で明るい村づくりに役立てたいものです。

なお、優勝した三チームは、八月十七日に美濃加茂市で行われる可茂地区大会に出場することになっていきます。

■加茂郡体育大会成績

- 優勝 バスケケットボール
- 〃 クレー射撃
- 〃 家庭婦人バレーボール
- 準優勝 男子バレーボール
- 〃 女子卓球

ナイターで熱戦

十五日から村民野球大会

この八月十五日から一週間におたつて総合運動場で、第四回村民野球大会が開かれます。

この大会は、全部ナイターで毎日夜六時半から二試合つづ地区対抗戦で行われます。

最近のスポーツは、見ることから参加する方向へと変わり、特に軟式野球熱は高まる一方で、今度の大会も参加は十チームを越す予定で、それぞれの地区の支援を受けた熱戦が期待されています。

■チーム編成区域と代表者

- 黒潮・大明神 桂川久己、島倉捷司
- 日向・栃山 高木正範、松岡辰也
- 陰地・曲坂 大坪晴生、松岡洋一
- 下野・久須見・大沢 今井章治、今井保郎
- 大口・西洞・加舎尾 安江正彦、島倉芳博
- 神付・中谷・中通上 樋口京一、村雲勝也

三位 女子バレーボール

- 〃 ソフトボール
- 〃 家庭婦人卓球
- 〃 青年剣道
- (個人の部)
- 優勝 剣道 安江正夫
- 〃 クレー射撃 松岡重治

上親田・下親田・中通下

- 平西 安江三子男、安江健二
- 平中 今井登、安江利勝
- 平東 多賀吉夫、鶴飼俊二
- 有賀政春、田口洋二

平中・大口チームが優勝

第四回子供会ソフトボール大会が八月三日に開かれ、十四チームが炎天下で熱戦を繰り広げました。

どのチームも十分な練習をつみ大人顔負けの好プレーが続出、応援の父兄を驚かせました。その結果、平中、大口チームが昨年に続き二連勝をなしとげました。

■善意の寄付紹介

村民センターの竣工を祝して多くの皆さんから、備品や装飾用品の寄付がありました。これらの寄付はご厚意にそって、たいせつに有効に使用させていただきます。

一敬称略、前号までの紹介者を除く

- (東白川村民センターへ)
- 柱材(老人・婦人の部屋用)
- 東白川村民材生産協同組合
- ロビーいす、机一式、館名碑
- 大日本土木株式会社
- 大花びん 千秋流三ツ葉会
- 書四 平野三郎(岐阜市)
- 植木 東白川農業協同組合
- そうきんたくさん
- 老人クラブ 明青会
- 老人室、青年室備品一式
- 今井時夫(柏本)
- 書一 藤井丙午(東京)
- 時計一個 中部印刷株式会社
- (関市)
- スクリーン、OHPスクリーン
- 熊崎道一(平)
- くず入れ 東白川村青年団
- 大花びん一個
- 古田忠一(上親田)
- 時計一個 ワカマツヤ商店
- (白川町)
- 温湿度計一基 田口時計店
- ししゅう画一架
- 河田うた(西洞)
- 座ぶとん 匿名
- いす、机 匿名

恐しい過労運転

今年県内で異常発生

今年に入ってから五月末までに過労運転が原因となった死亡事故が十二件も起き、十三名のかたが亡くなられています。

ここ数年の五月までの過労運転による死亡事故をみてみますと、四十七件二件、四十八年四件、四十九年一件で、今年の場合異常ともいえます。

村からも最近では遠くへ働きや遊びに出られるかたも多くなり、過労による事故が特に心配されます

■疲労と運転

長距離ドライブに疲労はつきもので、この疲労は旅行運転にとって極めて重大な悪影響を運転者に与えます。

「これくらいの疲れはたいした

ことがない」ということで、無理にがんばって運転を続けていたために、事故になったという場合が多いのです。

したがって、長距離運転では適当に休けい時間をとることが必要です。

休けい時間は、最初スタートした一時間以内は第一回目の休けいを行います。この際車内の再点検をするようにしましょう。二回目以降は、二時間おきぐらいに休けいしましょう。

運転中の身体の疲労感など、そんなにはつきりわかるものではありませんが、ねむくなった感じはよくわかります。このねむくなった感じというのは、身体に疲労が蓄積して、過労状態になると思わ

ず出てくるものです。まず、まぶたが重くなってきた。目をあけていようとしても、どうしてもまぶたがくっついてきて、どうにもならない感じが起きる。体がねむりを要求しているからです。

これは、まさにねむりに入る前兆ですから、この時点でいさぎよく車を安全なところに止めて、とまかく休けいをとるようにする。無理をして、もう少しもう少しと思っているうちに、いねむり運転という重大事故が待ちかまえているからです。

ねむくなった時点で、もはや情報は目に入っても、危険を感知する判断力が著しく低下して、危険感がなくなっている。運転操作のための感覚もにぶくなっていて、反応速度もおそく、誤操作もしやすい。目に入る情報さえも、見誤まるようになり、そのため誤まっ

た判断をして、ニヤミスが多く現われてくる。といったような、恐ろしい危険が発生しているのです。

走行中にねむくなったときは、何はさておいても、安全な場所に車をとめて三十分ぐらいねむることです。

ねむ気が、排気ガスからの一酸化炭素によることもあるので排気系統にもれがないかを点検することも忘れてはいけません。といったようなことを実行してみよう。

夜になっても一向に下がらない気温と不快指数は、人々の安らかなねむりを妨げ、心身に大きな疲労を蓄積させます。

夏の運転には、過労と事故という大きな問題がついてまわります。夏場の事故防止は、ずばり一言過労運転の防止にあるということができます。

農業委員決まる

推せん委員含め22名

任期満了による村の農業委員会委員選挙は、七月八日に告示され十五日が選挙となっていましたが無投票に終わり、次の皆さんに決まりました。

農業委員の任期は三年です。

田口琢也(中谷)、桂川鉄一(柏本)、安江忠雄(上親田)安江啓一郎(神付)、苅田芳美(曲坂)、安江浩(大明神)

今井光彦(加舎尾)安江友一(日向)、安江耕(平)、安江林(下親田)、安江正義(黒淵)、村雲宅郎(中通)、田口新一(西洞)桂川佑一(栃山)、小池辰夫(大沢)

また、村議会、農業協同組合、農業共済組合から推せんされ、農業委員となられたかたは、次のとおりです。

■議会推せん委員

安江辰也(宮代)、熊崎進(下野)、井戸鉄夫(久須見)、古田道彦(大口)、安江多策(大明神)

■農業協同組合推せん

安江慎一郎(上親田)

■農業共済組合推せん

安江文一(陰地)

- 鯉、水槽 田口 稔(上親田)
- いちい苗二本 加茂山林種苗生産組合
- いちい苗二本 丹春山林種苗組合
- ハナノキ二本 安江正逸(下親田)
- 林業研修室備品一式 村議会議員一同
- ロビーいす 今井兼一(大沢)
- 今井健吾(日向)
- 田口清(大明神)
- 田口庄之助(平)
- 竹ぼうきたくさん 老人クラブ
- ついたて一架 安江尚真(陰地)
- 時計一個 栄養改善推進協議会
- 時計一個 東白川村役場産業振興課
- 鏡一面 安江真澄(白川町)
- 置き物一 神戸正弥(平)
- 油絵一架 付知生ユン(付知町)
- 書一 青山正吾(川辺町)
- 庄置き一 大建設計株式会社
- 錦鯉 早瀬華学(上親田)
- 村雲利一(柏本)
- 古田鉦次(宮代)
- 掛しく一幅 伊藤精治(平)
- 額一 今井孟治(平)
- 丸いす一式 田口平吉(西洞)
- 時計 丹羽千秋(坂町祝)

■道路周辺の草刈りを

最近、道路周辺の草が大きくなり見通しの悪い箇所が多くあります。皆さんで草刈りのご協力をお願いします。

中国レポート 3

はだしの医者が活躍

八割を占める農民の健康管理

天津で最初の参観は天津大学校だった。この大学は総合工業大学で機械、化学工程、土木、建築など七学部があり、五千人近くの学生が学んでいる。

この大学の学生はすべて二年以上の労働実務経験があり、五年以上実務している人の学費は無料である。

また、年齢は二十歳から二十五歳で中学程度の知識のある結婚していない人たちがであった。

教育については、試験をするのはごく限られており、学期末に参考書を見ながら行い、むやみに暗記させることはせず、問題を解決する能力を養う点に重点がおかれている。

この点は日本の試験地獄といわれる現状とすいぶん異なるようだから中国の学生たちは生き生きとしており、またのびのびとしているのも知れない。

午後は市内のなんかい病院を参観した。この病院は腹部の急性疾患の治療で有名だそうである。

ベット数は三二〇床、医師一四五名、看護婦一五五名、技術者一四〇名という話でスタッフの豊富なの驚く。

病院の中を見学したが、全体に

暗いイメージで非衛生的な印象を受けた。治療室や診療室にはいかめしい機械類や色とりどりの薬品などは並んでいないで実にさっぱりしたものである。

この病院の任務は第一に病気の予防と治療で、予防に重点がおかれこの地区の医療を守ることであり、そのため一年に一回農村、工場へ医療訪問をしている。

第二は医療従事者の教育養成に力を入れている。病院には医学院、看護学院が併設されていた。

第三は科学研究で、東洋医学と西洋医学の結合を図り、その効果をあげるための研究がたえずくり返されている。

また、漢方薬、ハリ麻酔、ハリ治療の研究開発にも力を入れている。ハリ治療を受けている患者の病室訪問をしたが、心筋こうそく、腸へいそく

の人で治療効果をあげていた。実験室では、うさぎによるハリ麻酔の研究も行われている。この地方に多い病気として、か

つては住血吸虫であったが、現在高山病、甲状腺腫、高血圧、心ぞう病ということだった。

中国では総人口の八五割が農民である。これらの農民の健康を守るために「はだしの医者」がいる。

この医者は人民公社の衛生院や県立病院や巡回診療隊の指導のもとに養成された医者で、農業に従

計画的な出産に関係する仕事もしている。

病気の予防、健康の保持増進のための健康教育、予防接種、職業病予防、家庭訪問、母子保健の推進や簡単な治療をその主な仕事としているが、治療を除けば私たちのような保健婦とほぼ同じような役割りでたいへん興味深かった。

工場には、はだしの医者に相当するものとして「赤い医者」があり、職場の健康管理をするという話であった。

二日目は市内の蓄電池工場の参観だった。この工場は党委員会一八つの係というしくみになっている。

給料の決定は三点で決定する。一、思想、政治性、二、技術、三、労働態度以上であり、現在八給制に分かれており一給三十四元、二給四十二元三給四十六元、四給五十四元、五給六十三元、六給七十六元、七給八十五元、八給百十三元というようであった。(一元は約百七十円である)

若い労働者は約四十元の給料だが基本的な生活は国家で保障されているため十分生活していけるそうである。

団員の中から社会主義国における給料格差がある点についてどう思うかと質問が出された答は、現在、検討中だが、将来格差をなくす方向で我々は努力しなければならぬ重要な課題であるという話だった。

また、この工場は二〇割が女性だった。生理、妊娠時の保障について質問が出た。

それによると妊娠すると軽業に転換し、夜勤は禁止され、出産時は正常な経過で五十六日、難産や双生児などだと七十六日の休暇があり、出産後三年間は八時間労働のうち一時間は授乳、育児時間として与えられている。

生理休暇は特別には設けられていないようではなかったが、本人の希望により軽業にしたり休むようになっていた。

同行してくれた通訳の中にも四十歳くらいの婦人がいたが、旅行会社勤め子供は二人あり、夫は朝、食料品の買い出しや、そうじせんたなど引き受けてくれ、うまく家事を分担し共に社会的な労働に参加できるよう協力しあっているというこだった。

確かにバスでの移動の途中、車窓から男性が家の前の水道で大きなタライを前にして、せんたくしたり、野菜を洗っている風景はところどころでみかけた。

ここでの話し合いでまた印象的な言葉があった。「労働は時間を問わず、また労働は報酬を問わず」ということが自然に身についていると話された。



印象的の姿の若者たち

村誌こぼれ話



—— 編さん室だより

今年もあゆ友釣が解禁され、白川のにぎわう季節になったが、村誌資料の中から白川あゆの話を一三拾ってみよう。

白川の“あゆ”

この白川にあゆはいづころそ上るようになったかは明らかではないが、伝説「五介の滝」の中にでてくる鉄砲の名人岩手の又右衛門が、若かりしころに五加地内の白川であゆを射って修行したという話がある。

真偽のほどは別として又右衛門は実在の人物で黒川に生まれ、元禄十一年五月七日に亡くなった人であり、このころすでにあゆがいたことは間違いないであろう。村誌資料で散見する範囲では、安永二年（一七七三年）に神土村柏木村から塩あゆ各二十四を苗木

の領主へ献上しているが、その大きさはいづれも八〇九寸（24寸30寸）もあり、いまのあゆでは想像できない天然産のものがいたようである。

当時の漁法の主なものは、投網火振り、やなどがあり、記録の上では、五加下野村が寛政年間（一七八九〜一八〇〇年）ころ、現在の下野えん提のあたりに毎年やなを掛けており、天保十五年（一八四四年）には、本せぎを六間余りも打破るなど大仕掛なやな場を作って、ときの庄屋から差止められる一幕もあった。

年々の気候や水温によってあゆのそ上の良し悪しがあったことは昔も今も変わらないが、嘉永六年（一八五三年）神土村庄屋方記録覚書の中に一文には「丑八月、九月天氣続き、その年あゆたくさんのはり、九月十六日ごろに柏木、中屋辺の淵にこもり、とれ申候、川の瀬も居り申候、なげあみを川上へうち、せこいたし候得ばとれよし、あみをはり、夜分たいまつをともし、せこいたせばとれよろし。」とか、いまでいう火振りも行っていた。

明治年代に入ってもやな漁は行われたが、白川は川幅がせまく急瀬が多いので、いったん雨が降るとすぐ流されるなど、余りかんばしくなく次第にすたれてしまった。次の願書はその一例を示すものである。

願書

第十大区第二小区

加茂郡五加村

今井与市

一、魚やな営業人

右は昨明治十年九月中やな営業につき、御鑑札御願ひ奉り則営業仕り候処、猶又本年営業の心組に罷り在り候処、元来魚やな張込の儀は毎年二百十日よりの所業につき、右期日既に着手に及可きの処本年は兎角雨降りがちにて出水絶えず、然るに九月十三日頗る洪水にて、右営業の場所水脈も相換り迎々も本年は営業の見込相立たず候哉、右御鑑札還納奉り、廃業

願ひ奉り度、依って何卒御れんびんの思召を以て御減税の儀仰付下され候様、此段願ひ奉り候也

右営業人 今井与市

明治十一年十月

岐阜県令 小崎利準殿

大正以降になつて下流に発電用ダムが作られるようになり天然あゆのそ上はまったくだえてしまったが、その後昭和年代に入つて稚あゆの放流が各地で試みられ、この白川では昭和六年四月、白川筋漁業組合が発足し、初めて天然の稚あゆが放流された。その後は年ごと盛んになり稚あ

化しにくいもの、熱いものや冷たいものなどをさける。

■胃下垂炎

一、休養がたいせつである。

二、油もの、砂糖類はさけ、栄養

胃腸病は、日本人ともっともなじみの深い病気です。過去の胃腸病には、胃炎、胃下垂、十二指腸潰瘍、胃ポリープ、胃ガンなどがあります。そして、年代との関係を見ると胃炎や十二指腸潰瘍は二十代から胃ガン、食道ガン、大腸ガンは四十代から多くなります。次の病氣別養生法を参考に早めに治したいものです。

■慢性胃炎

一、規則正しい食生活で、食後しばらく安静にする。

二、時間をかけてゆっくり食べる

三、過食をさけ、量に注意する。

四、胃部を冷やさないうように保温に気をつける。

五、香辛料、アルコール飲料、消



胃腸病は早めに治療を

価が高く消化のよいものを回数多くして食べる。

三、食後二十〜三十分は休む

■胃、十二指腸潰瘍

一、精神の安定が第一である。

ゆもびわ湖産から人工ふ化まで今日の隆盛を見るに至った。（編さん室から）

友釣り、たくりの漁法は何時ころ始まったか、どなたかご存知ありませんか。

■満洲開拓当時の資料をお借りできませんか

村誌、県での満洲開拓史の編集に当時の記録や写真が必要ですので、もし保存されているかたがありましたらお知らせ下さい。

企画広報課（室二八五）
村誌編さん室（室二八四）

二、熱すぎたり、冷たすぎたりしない食事

三、固い食品など刺激の強いものはさける。

四、少量で栄養価の高いものをとる。

五、食事は毎回の量を減らし、回数を増やす。

胃腸病は、このほか精神的なストレスが大きく影響します。

心配ごとやイライラなどがあれば、胃液の分泌は悪く、消化も悪くなります。趣味を持ったり、スポーツをしたりしてストレス解消に努力して下さい。

これから暑くなると体力が落ち消化能力も落ちてきます。

正しい食生活で夏バテを防ぎましょう。



ふるさとへの便り



いつまでも私のふるさと

きびしい仕事と学校の両立

皆さんこんにちは
その後皆さんお元気のことと
思います。

このたび広報を送っていただき
ありがとうございます。ほんと
にうれしく思います。

東白川村は、今も何も変わらな
く私のふるさとなんだなあーと感
じることができました。

もう岐阜市へきて三カ月過ぎ、
四カ月に入っている今もやはり家
がとても恋しく思います。

私の生活はともめまぐるしい
です。どうして毎日同じことばか
りくりかえしているのか自分自身
いやになることがあるのです。

社会のきびしさ、学校と仕事の
両立のきびしさをあらためて思い
知らされた今がんばらなくてはと
思うのです。

友だちもがんばっているんだか
ら……。

そしていつも私をまもっていて
くれるふるさと東白川があるとい

うことを私は忘れてはいけな
いということに勇気づけられた気持
ちです。

こんどのお盆に東白川村へ帰
ります。その時もニコリした顔で
東白川は私を受け入れてくれると
思います。

いつまでも私のふるさと、父
母、祖母、弟、妹のすむ村変わ
らないでいてほしい。

私のふるさと東白川、変わらな
いほしい、私はいつまでもそう
願って機械の音のうるさい中で
がんばるつもりです。

それは二年、三年、四年たつて
も同じことでしょう。

いつまでも私のふるさとでいて
ほしい。

岐阜市宇佐三六六の五
東洋紡績 安江利江子

わたしのおかあさん

熊沢恵理子 (5歳)

一越原日向 熊沢光介さん (長女)

あのね
いつも、おやつをつ
くってくれるし、た
くさん、ほんをよん
でくれる。
やさしい、おかあさ
ん。
ときどき、えいちゃ
ん、おぎようぎわる
いよとしかられる。



あなたの作品を
お寄せ下さい

- ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

美しき古き歴史の山河あり吾もこの国に生を享けしが
たちがたき思ひを断ちていざさらばふる郷人よ山よ川よ
在ブラジル 菅井正子

○新しき筆に濃墨をふくませて祈りつつ書く亡夫の碑の文字
林 己

たどたととケーキ食べしと伝え来ぬ誕生日知らず孫の電話は
田口きのえ

五十年を経れば一本一万円と思ひつつ間引く松の実生を
樋口甲子郎

通釈がなければ判らぬ言葉にて問ひ来る孫に我は戸惑ふ
安江 澄

母近きし母屋を眺め今宵また三日月を拝み臉を閉じぬ
安江 守平

仔鬼の草食むさまのいとしさよ試験用なる命なりけり
今井 志津

吾が村に海はなけれどお茶畑の波なす上に五月風匂ふ
こしはら 香

○捨てられし蜜柑の皮の美しさごみ箱の中のごみになじまず
田口すす

頼まれし田植に行きて自信つき又あちこちと植えたと思ふ
安江すみよ

○三十回忌逝し夫の征きし日の若きおもかけ顯ちて吾が老ゆ
安江と志江

手に滲みし堆肥の匂ひ消さむとし夕べの池に梶の葉を描む
田口良三

〔選者小言〕

歌材は日々の生活の場に転っています。自分の眼で見据え
自分の心で問い直し、言葉を充分選んで詠いましょう。

歌に娘びや身振りは要りませぬ。胸張って素直に詠い上げる
ことです。歌心が澄んで居ればゴミ溜のみかんの皮にも詩が
あります。この欄の掲載は順序不同ですが今回から特に佳
いには○印を付けることにします。